



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2011-2012年度 R I 会長 カルヤン・パネルジー



ココロの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 第2590地区ガバナー 上澤摩壽雄

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長 | 加藤 仁昭 | ● 会長エレクト | 飯田 泰之 |
| ● 副会長 | 伊東 英紀 | ● 副会長 | 山本 登 |
| ● 幹事 | 天野 公史 | ● 副幹事 | 西山 潔 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 副会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 山本 芳弘 | ● 副 S A A | 吉田 隆男 |
| ● 副 S A A | 横溝 亘 | ● クラブ会報 | 小山市 康 |

●クラブテーマ「感謝・継承・進化」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2011-2012年度 第17週報 No. 1716 2011年(平成23年) 11月4日 第1716回例会記録 11月11日発行

司会 西山 潔 副幹事

点鐘 加藤 仁昭 会長

斉唱 「君が代」「奉仕の理想」

ロータリーの綱領 小池 将夫 会員 (第1例会のみ)

四つのテスト 植田 清司 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

臨時総会

本日、2012-13年度の役員、理事の選任方法について、会員の承認を受けました。

ゲスト紹介 平田隆太郎 様 (ゲストスピーカー)

結婚記念日祝 伊澤 政宏 会員 (11月5日)
白鳥 厚夫 会員 (11月7日)
矢野 修二 会員 (11月9日)



本日〈11月11日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 づけ井御膳
- ◆ 卓話 「日本外交の今後」
元駐レバノン特命全権大使、作家 天木 直人 様
(紹介者 田口健太郎 会員)

会長報告

加藤 仁昭 会長

- ・ R I 事務局より認証状と認証品のピンが届いておりますので贈呈致します。



茂木知子会員（ベネファクター）、伊東英紀会員・矢野修二会員・渡邊淳会員・田口健太郎会員（マルチプルポールハリスフェロー）

幹事報告

飯田 泰之 パスト幹事

- ・ 明日の地区大会のご案内を申し上げます。
登録開始 12時 点鐘 13時
場所 パシフィコ横浜会議センター 1 F
- ・ 次週、例会終了後に11月度定例理事会を開催致します。

◎例会変更のお知らせ

- * 横浜保土ヶ谷ロータリークラブ
平成23年11月15日(火) 移動例会
- * 横浜鶴見北ロータリークラブ
平成23年11月24日(木) 移動例会
12月22日(木) 年末家族親睦例会
12月29日(木) 休会
- * 横浜港北ロータリークラブ
平成23年12月22日(木) 夜間例会・クリスマス家族会
12月29日(木) 休会
平成24年1月5日(木) 休会
- * 横浜鶴見西ロータリークラブ
平成23年12月14日(水) 年末家族親睦例会
12月28日(水) 休会
- * 横浜北ロータリークラブ
平成23年12月13日(火) 夜間例会・年末家族会
12月27日(火) 休会
平成24年1月3日(火) 休会
1月10日(火) ⇒ 11日(水) 夜間移動例会

委員会報告

雑誌委員会 副委員長 山田 正憲

ロータリーの友11月号の紹介をします。

横組みではロータリー財団月間と言うこともあり、「ロータリアンのためのポリオ・プラスの『プラス』入門」という特集が生まれ「プラス」の意味を説明しています。

また、「エバンストン便り」ではロータリーの公共イメージ調査の結果が発表され、多くの人が「ロータリーという名を聞いたことはあるが、何をやる団体なのかは知らない」と答え、入会する可能性があるのはわずかであったと記されています。

縦組みでは「心を直し、相手に気配りをし、そして集中する」という興南高校野球部の指導方法が紹介されています。

さらに、卓話の泉にはこれから私たちが行おうとしている「ふるさと納税」についての一文があり参考になりますのでご一読下さい。

出席報告

佐藤 勝彦 出席副委員長

会員総数	56名	(40+16)名	
出席会員数	40名	(28+12)名	
出席率	76.92%		
ゲスト	1名	ビジター	0名
前回補正後	92.59%	前々回補正後	97.87%

スマイルボックス

山本 芳弘 S A A

矢野修二君 結婚記念日のお祝い、ありがとう。

伊澤政宏君 結婚祝い、ありがとうございます。明日11月5日で43年になります。永い永い時間を過ごしています。

白鳥厚夫君 2度目の結婚、14年目。息子も13歳の反抗期の男の子になりました。

加藤仁昭君 本日の卓話、平田様、よろしく申し上げます。楽しみにしておりました。

山本 登君 最近、夜の会合が多くて食べ過ぎです。ロータリーの夜の部には中々出席出来ません。

河野明光君 平田隆太郎様、本日の卓話、よろしく願い致します。微力ですが、ご支援申し上げます。

伊東英紀君 平田様、本日の卓話、よろしく申し上げます。

脇田いずゞさん 今日は暖かいですね！でも風邪を引かない様気をつけましょう！

茂木知子さん 白鳥会員がさりげなく真面目にやっていること。①東北復興支援・・・夜間例会のテーブルで称賛されました。②ストリップ劇場で手をあげること。（自己申告）

山本芳弘君 チャンピオン誕生を祝う会、皆様よろしく願い致します。

11月4日	10件	26,000円
本年度累計		794,778円

「拉致の現状と今後の展望」

北朝鮮拉致家族会「救う会」 事務局長 平田隆太郎 様
(紹介者 田口健太郎 会員)



救出運動の目的と当面の目標

認定未認定にかかわらず、すべての拉致被害者を救出すること。

当面の目標は、2002年9月に金正日政権が発表した「拉致したのは13人だけ。8人は死亡」というウソのシナリオをくつがえさせること。この「拉致問題は解決済み」との立場を降ろさせないと交渉しても救出できない。

2006年9月、安倍政権が拉致問題対策本部を作り、専門部署が始めてできた。その2年後の2008年、北朝鮮は6者協議の外で日朝協議を求め、8月の日朝協議で「調査のやり直し」を約束。「解決済み」の立場を変えた。

9月9日、建国60周年記念の軍事パレードを予定しており、チャーター便と再入国許可を要求。しかし、8月に金正日が倒れ、9月4日、「調査のやり直し」約束を反故にした。以来、「解決済み」を主張。

朝鮮総連が制作している朝鮮学校の教科書は、「日本当局は《拉致問題》を極大化し・・・反朝鮮人騒動を大々的に繰り返している」。これは「解決済み」の立場。日本にも一部、「解決済み」という勢力や報道人がいる。日朝国交推進国民会議とか推進議連。これは「解決済み」の立場を変えずに国交正常化しようというもの。これでは拉致被害者は帰ってこない。

金正日に、「解決済み」の立場では何も得られないと思わせることができるかが勝負。制裁をかけるのは、そこまで追い込んで交渉しないと危ないから。重大な情報を知っているとされる横田めぐみさんやKAL機事件の犯人金賢姫の教育をした田口八重子さんは救出できない。

既に約束を破って3年以上経った。その間、被害者と家族の苦しみが続いた。だから追加制裁をすべき。交渉に応じるなら、追加制裁を下げてもいい。

家族会・救う会は、今年5月に、9月で満3年になるので追加制裁を要請し、6月にデモ行進。菅総理も検討を指示した。また、9月4日の緊急集会で、座り込みも辞さない姿勢で9月末までに制裁を野田総理に要請(9/11)。10/8面会。

そして(10/9)運動方針案、「家族会全メンバーと面談した席で、野田総理が時間との闘いと認識で緊迫感を持ってあらゆる方策をやっていきたくて明言したので、しばらくの間座り込みを見合わせるが、野田政権に対して実際に被害者救出のための実効的政策を実行するように厳しく迫り続ける」と決定。

総理は、我々の要求について、制裁については「わが国として実効性ある協議をするためにあらゆる方策、実効性ある方策を政府一丸で実行に移したい」と即時実施を否定したが、実施を検討していることを認めた。朝鮮学校問題は、菅総理が行ったような総理権限での手続き中止には否定的だったが厳正な調査実施を約束した。部分的には受け入れられたが不十分。

救出方法

- ・世論を盛り上げ、すべての拉致被害者を返さない限り、絶対に制裁解除を行わない、国交正常化をしないと日本国民と日本国の意思を北朝鮮に伝え続ける。例 2002.09.17
- ・外国の映画のように軍の特殊部隊を突入させて解決という方法はとれない。従って、モノ・カネ・ヒトの交流を断って圧力をかけ続け、日本の強い意思を伝える。

日本人拉致は約100人

金正日は、1976年後継者になるや、対南工作部門幹部会議で、従来の拉致を批判し、「工作員の現地人化教育を徹底して行え。そのために現地人を連れて来て教育にあたらせよ。」と拉致を指令した。

工作員の再訓練を約1年間行い、1977年、1978年に集中的に拉致を行った。少なくとも12ヶ国から拉致。うち日本人は約100人。元北朝鮮工作員・安明進氏が15人目撃、30人いると聞いている。その配偶者も拉致。教師に向かない人もいた筈。よど号犯が20人。曾我ひとみさん親子のように情報が全くないケースも。特定失踪者約470人。

なぜ救出できなかったか

救出を求める世論の支持がないと動けない警察。政府認定で一番早い久米裕さん拉致事件は1977年9月。犯人を逮捕、自白も証拠もあり、北朝鮮の犯行と断定できた。この時主権と人権の侵害として毅然たる対応をしていればその後の拉致はなかった筈。しかし、警察は黙認し、以後、拉致は疑惑のままとなった。

1978年の連続アバック拉致事件でも対応せず。

家族会・救う会はまず世論づくりを始めた。

1997(平成9)年3月。今は、世論があるので、やる気のない政府でもやると言わざるを得ないが、世論がなければやらなかった。

2002年9月、小泉訪朝で金正日が拉致を認め謝罪。ようやく拉致疑惑が拉致問題に。しかし、専門部署がなく、全員救出できず。

2006(平成18)年9月安倍晋三首相が設置。

2011-12年度 国際ロータリー2590地区 地区大会

【開催日】2011年11月4日(金)・5日(土)

【場 所】パシフィコ横浜会議センター



本会議



会員懇親会

ロータリーニュース

バンコク国際大会は豊かな顔ぶれの講演者と低登録料が魅力

2012年5月6～9日に「微笑みの国」タイ、バンコクで開催される第103回ロータリー国際大会。ノーベル平和賞受賞者をはじめとする豊かな顔ぶれの講演者を迎え、忘れられない思い出を約束します。さらに、12月1日までに2012年国際大会に登録すれば、過去10年で最も安い料金でご登録頂けます。エキゾチックな寺院やユニークな博物館、史跡観光など、見どころの多いバンコクで開かれる今大会に、ぜひご出席ください。

5月7日(月)には、ノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行創設者のムハマド・ユヌス氏と、Global Poverty Projectの共同創設者

兼CEOであるヒュー・エバンス氏が講演を行います。

タイ政府からの助成金によって、今大会の登録料は低く設定されています。12月1日までにバンコク国際大会に登録した場合、登録料は一人160ドルとなり、5～18歳のゲストは一人わずか10ドルとなります。また、ローターアクターとロータリー財団学友の登録料が50ドルとなっている一方、インターアクターとロータリー青少年交換学生はわずか10ドルで登録できます。

ユナイテッド航空をはじめとするスターアライアンスの提携航空会社は、ロータリアンのバンコクまでの航空料金を割引にするサービス提供しています。エコノミークラスは最大15%、ビジネスクラスは最大20%の割引となっています(例外もあります)。

【講演者紹介】

マイクロクレジットのパイオニア

バングラデシュにあるチッタゴン大学の経済学教授だったムハマド・ユヌス氏は、マイクロクレジットを通じて貧困層の人々の生活を改善するため、特に貧しい農村部の女性を対象に、小額の融資を始めました。最初は自分の資金から融資を行っていましたが、グラミン銀行を創設し、現在は同国内に2,500以上の支店が設立されるまでになりました。1983年以来、起業支援や事業拡大を目指す834万人以上に融資を行い、その97%は女性となっています。特筆すべきは、その返済率が97%近いことです。グラミン銀行が考案したソーシャル・ビジネスのモデルは、カナダやフランスなど58カ国に導入されています。こうした功績が認められ、2006年、ユヌス氏とグラミン銀行にノーベル平和賞が贈られました。

貧困、飢餓、そしてポリオの撲滅を目指す

ヒュー・エバンス氏は、わずか14歳でワールドビジョン(World Vision)の親善大使として母国オーストラリアからフィリピンに赴き、人道奉仕の道に踏み出しました。世界から貧困を撲滅することを目指す若者による団体、Oaktree財団を創設し、2004年に「ヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー」を受賞したエバンス氏。彼が共同創設者となって2008年に立ち上げたGlobal Poverty Projectは、撲滅支援キャンペーンと教育を通じて、「2015年までに貧困者の割合を半減する」という国連のミレニアム開発目標に対する一般の意識向上に力を注いでいます。

最近では、ポリオ撲滅にも取り組み始め、ホームページでの署名運動などを通じて、各国首脳にポリオ撲滅への支援を働きかけています。

10月28日には、オーストラリアのパースで「End of Polio」コンサートを主催しました。

記事: Maureen Vaught

国際ロータリー・ニュース

次回《11月18日》の卓話予定

テーマ「日本とネパールの架け橋を目指して」

米山奨学生 エソダ・バスネット 様

(紹介者 地区米山奨学委員長 倉知 恒久 様)